

《最近の県内経済》 (2024年10月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。



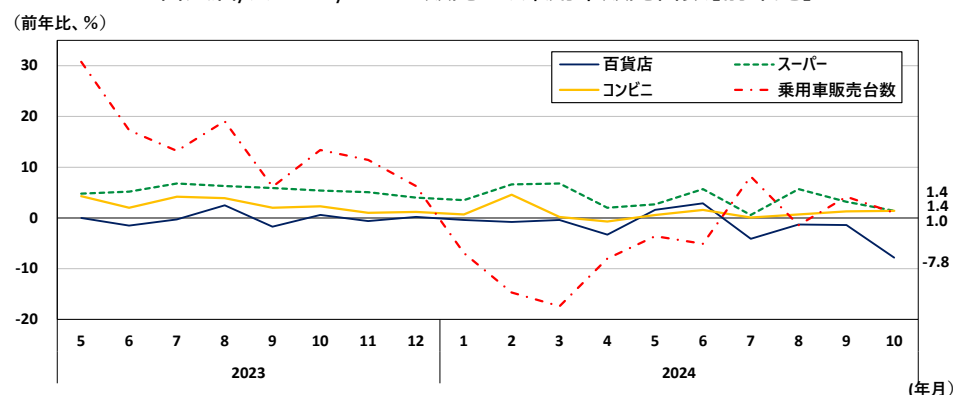
前月比

1 個人消費 ～緩やかに持ち直している



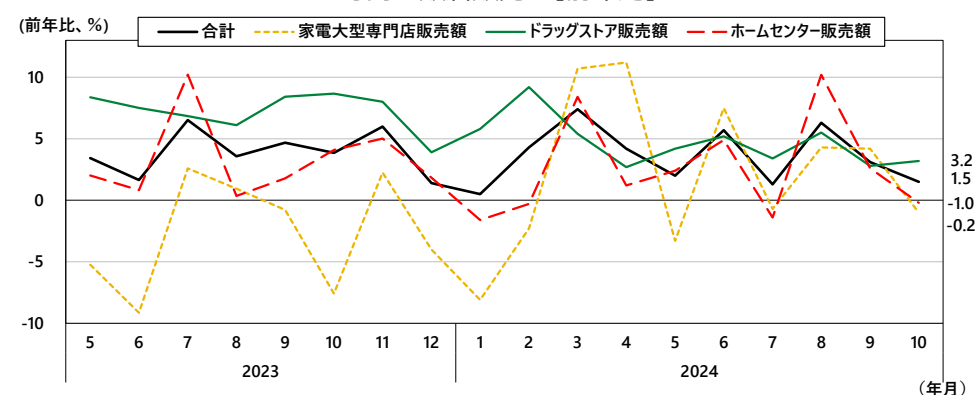
前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

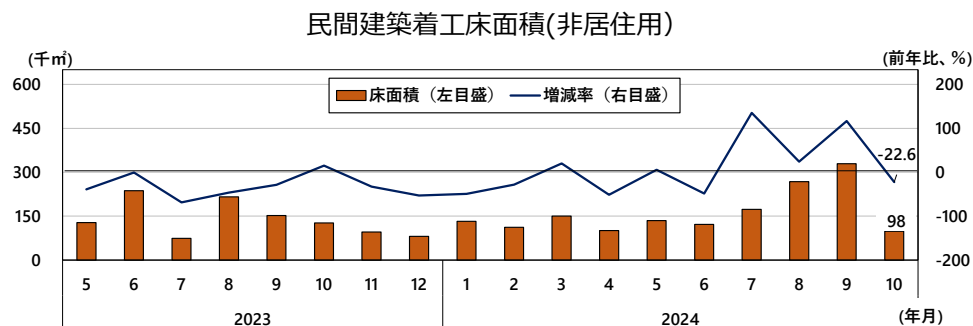
10月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は112億円で前年比7.8%減（4か月連続の減少）、スーパーは1,066億円で同1.4%増（25か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は582億円で同1.4%増（6か月連続の増加）となった。記録的な残暑の影響により、秋冬商材が苦戦。流通し始めた新米や高値推移の青果などの食品関連、前月に続き防災備蓄商品などが好調だった。

また、乗用車販売は、前年比1.0%増と2か月連続の増加となった。内訳をみると、軽乗用車が同14.8%減（3か月連続の減少）となったものの、普通車が同11.8%増（4か月連続の増加）、小型車が同7.1%増（2か月連続の増加）とそれぞれ増加した。

10月の専門量販店販売額は、773億円で前年比1.5%増と26か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が153億円で同1.0%減（3か月ぶりの減少）、ホームセンターが184億円で同0.2%減（3か月ぶりの減少）となったものの、ドラッグストアが436億円で同3.2%増（29か月連続の増加）となった。家電専門店、ホームセンターは防犯関連商品の需要が高まったものの、残暑の影響による季節商品が低調だった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、9月〈37.4〉、10月〈36.9〉、11月〈36.5〉と推移している。

2 設備投資 ～持ち直している

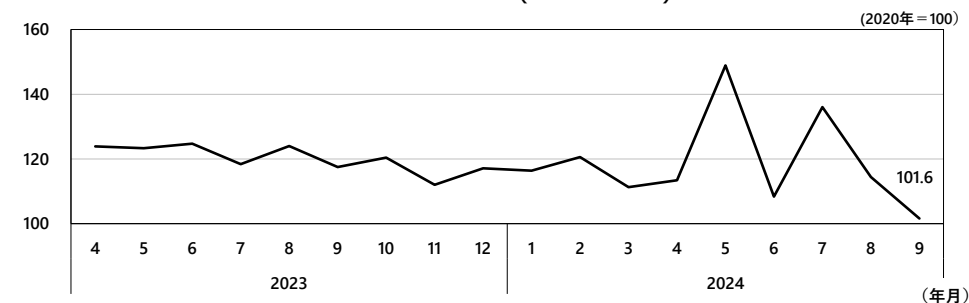


(資料) 国土交通省

10月の民間建築着工床面積（非居住用）は、98千㎡で前年比22.6%減と4か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均では、前年比23.0%増加）。

用途別にみると、店舗、工場及び作業場は増加したものの、事務所、倉庫、学校の校舎、病院・診療所はいずれも減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)

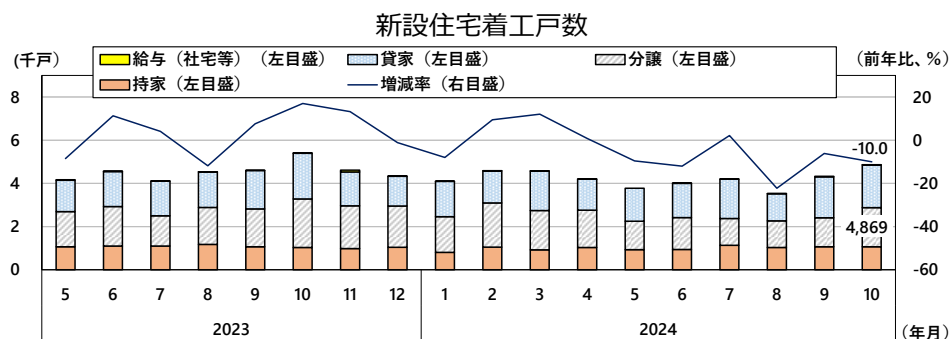


(資料) 埼玉県

9月の資本財出荷指数（季節調整済）は101.6で、前月比11.2%減と2か月連続の減少となった（5か月後方移動平均は、前年比2.4%減少）。

当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している（全産業前年比+25.3%）。

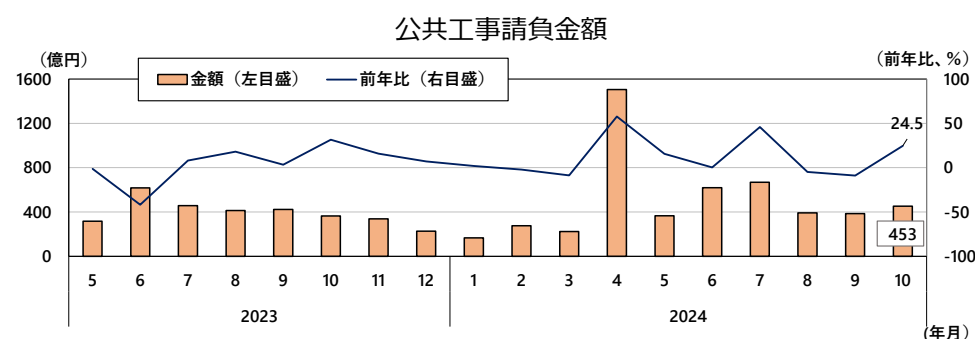
3 住宅建設 ～弱含んでいる



(資料) 国土交通省

10月の新設住宅着工戸数は、4,869戸で前年比10.0%減と3か月連続の減少となった（5か月後方移動平均でも9.8%減）。利用関係別にみると、持家（1,071戸）は前年比3.3%増加となったものの、貸家（1,973戸）は同6.6%減少、分譲マンション（666戸）は同26.2%減少、分譲一戸建て（1,104戸）が同17.7%減少となった。

4 公共工事 ～底堅く推移している



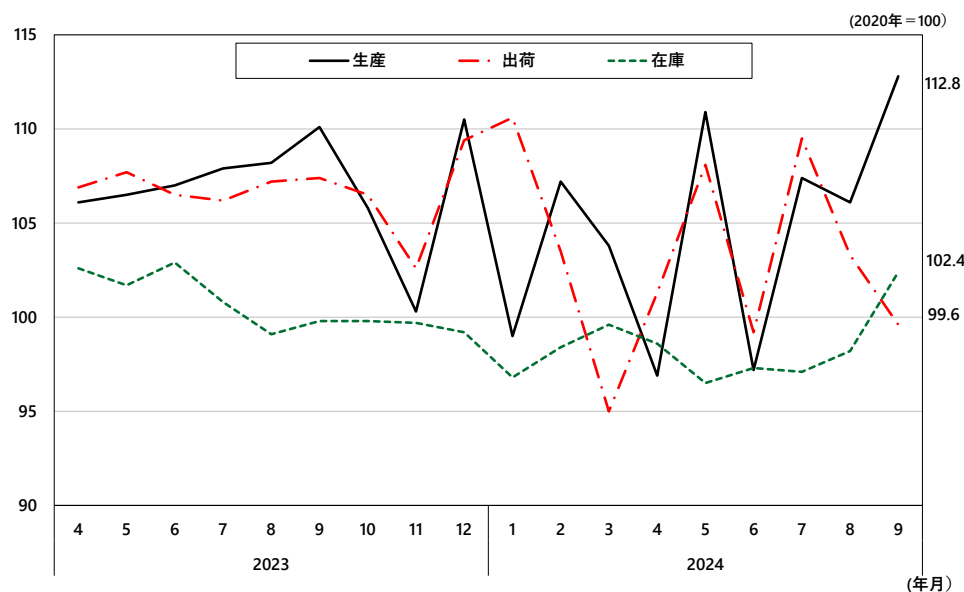
(資料) 東日本建設業保証株式会社

10月の公共工事請負額は453億円、前年比24.5%増となった（3か月ぶりの増加）。5か月後方移動平均では前年比10.7%増で推移。発注者別の前年比をみると、国、地方公社は減少したものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村は増加した。

5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



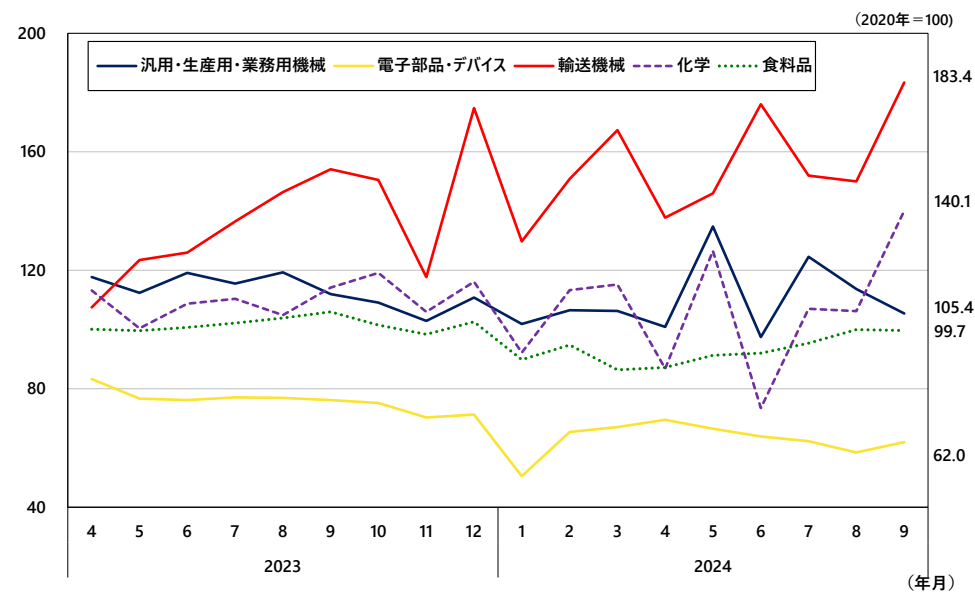
(資料) 埼玉県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、112.8で前月比6.3%上昇した(2か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、印刷業(平版印刷(オフセット印刷)、おう版(グラビア印刷))などが低下したが、化学(医薬品、合成樹脂塗料)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇した。

出荷指数(同)は、99.6で同3.6%低下(2か月連続の低下)。輸送機械(普通トラック、自動車エンジン)、電気機械(電気計器、低圧遮断器)などが上昇したが、化学(医薬品、印刷インキ)、情報通信機械(ガス警報器、金銭登録機(端末機能付))などが低下した。

在庫指数(同)は、102.4で同4.3%上昇した(2か月連続の上昇)。窯業・土石製品(遠心力鉄筋コンクリートパイプ、ポルトランドセメントクリンカ)、食料品(精米、味噌)などが低下したが、情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)、生産用機械(整地機械、刈込機)などが上昇した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



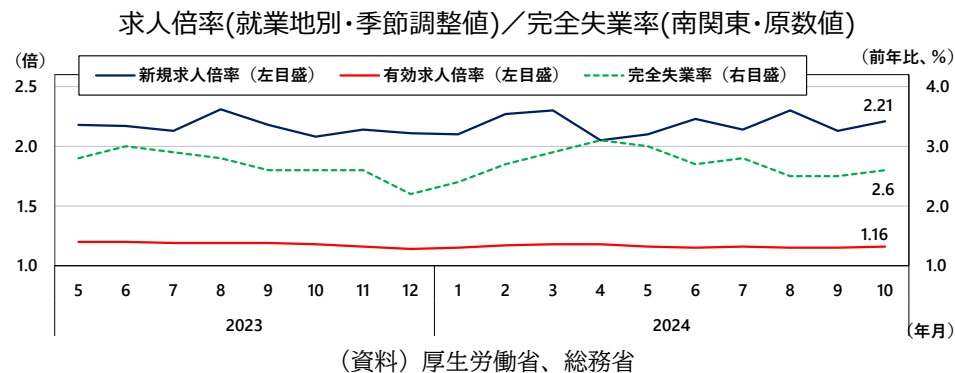
(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、105.4で前月比7.2%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、62.0で同6.0%上昇し、5か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、183.4で同22.3%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、140.1で同31.9%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 食料品(同)は、99.7で同0.3%低下し、6か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している



前月比



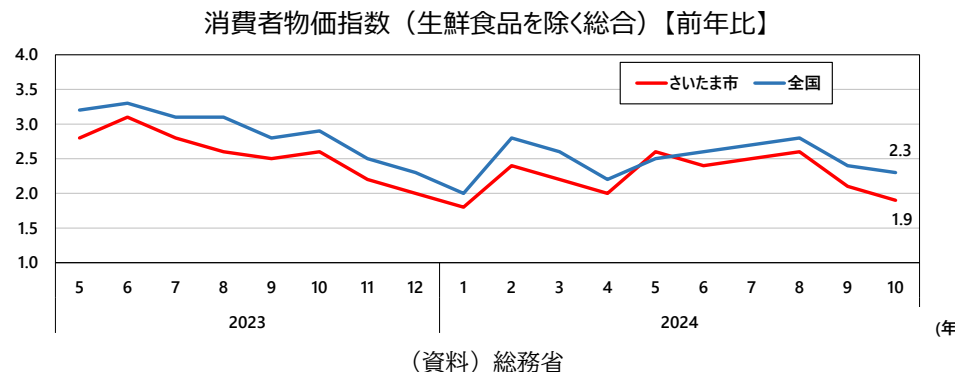
10月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.16倍で前月比0.01ポイント上昇(3か月ぶりの上昇)した。新規求人倍率(同)は、2.21倍で同比0.08ポイント上昇(2か月ぶりの上昇)となった。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月と同じ水準になった。

8 消費者物価 ～上昇率が高止まりしている



前月比



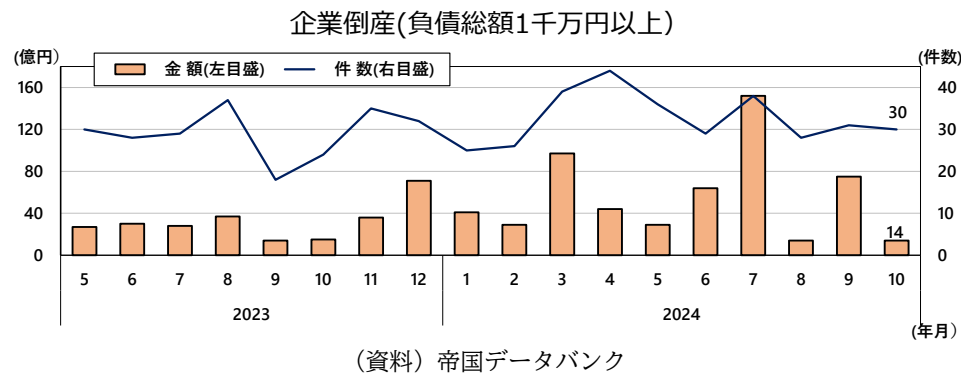
10月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、107.8で前年同月比1.9%上昇した(37か月連続の前年同月比上昇)。

食料(穀類(うるち米など))、教養娯楽(旅行費など)、光熱・水道(電気代など)などが上昇し、全体を押し上げている。

7 企業倒産 ～増加傾向にある



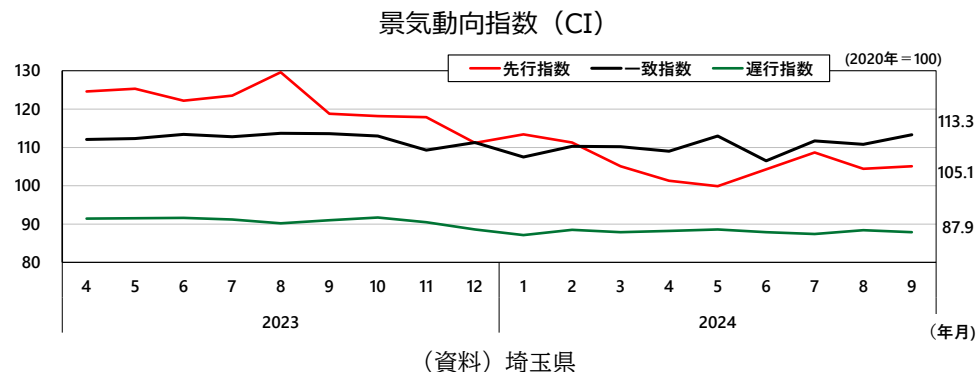
前月比



10月の企業倒産件数は30件で前年同月比6件の増加となった。また、負債総額は14億円で同1億円の減少となった(5か月移動平均では、件数は前年比4件の増加、負債総額は同39億円の増加)。

業種別にみると、サービス業が最多で9件、次いで小売業、建設業がそれぞれ7件、製造業が4件となっている。主因別では、販売不振が28件となっている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～下げ止まりを示している



- ・9月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、113.3で同2.5ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、105.1で同0.7ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、87.9で同0.5ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。